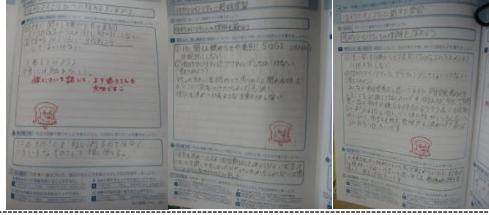


重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
1 実践1 【人権教室の実施】	 成果 ○地域の人権擁護員の授業での『リスペクトアザーズ』の視聴を通し、他者を尊重するとはどういうことか考えることができた。 ○生徒が学んだこと・考えたこと、授業を終えての声 ・日本にはあまりない、リスペクトという考え方を学ぶことができた。 ・地域の人に会い、関わることもできたのがうれしかった。 ・もっと他人の意見を尊重できるようになりたい。 課題 ○他者を尊重する気持ちの大切さを理解はしているが、日常生活で、他者を思いやる発言ができないことがある。自分の発言について振り返り、人との関わり方について考える機会を定期的に設けたい。
2 実践2 【LGBTQ 理解促進に向けた道徳の授業実践】	 成果 ○道徳の授業を通し、茨城県が推奨する『性的マイノリティへの理解を深める動画（滑川友理氏）』の視聴により、性のものさしが人それぞれ違うことを学んだ。 ○生徒のノートに書かれた考えや学んだこと ・「彼女はいる？」など異性愛者と決めつける発言に気をつけようと思った。 ・相手の性に対する認識を理解しようと思った。 ・一つのものさしで推しはかるのではなく、いろいろなものさしがあることを覚えておきたい。 課題 ・本校には、LGBTQ に対応した更衣室などがない。今後、生徒一人一人が過ごしやすい環境整備を目指したい。 ・人権教室や道徳の授業だけでなく、学級活動や社会科の学習などでも人権に対する題材を提供していく。また、道徳で扱った資料や新聞などの人権に関する記事を教室や廊下に掲示し、人権への理解を深めていきたい。